

令和7年 3月 8日

七生緑小学校学区各自治会長様
関 係 各 位

七生緑小地域自主防災会
事務局 石附 和己

第64回七生緑小地域自主防災会のご案内

日頃より本会へのご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

令和7年度もひき続き、避難所開設マニュアルの改訂を行ってまいります。つきましては、以下の通り、第64回会合へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

【定例会】

- 日 時 令和7年 5月 16日(金) 午後6時30分より
- 場 所 七生緑小学校 図書室
- 内 容 避難所開設マニュアル改訂作業
- 参 加 者 日野市役所関係者、七生緑小学区各自治会長（若しくは防災組織の代表者）、七生緑小校長・副校長

- そ の 他 ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

【連絡先】日野市立七生緑小学校
副 校 長 大西 恵理子
電話042-591-0998
FAX042-591-0997

第 63 回 七生緑小地域自主防災会 議事録

1 日程・場所

令和 7 年 2 月 20 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時
七生緑小学校 2F 図書室

2 参加団体

(行政) ■日野市防災安全課 ■七生緑小学校
(正会員) ■南百草園自治会 □三沢台自治会自主防災会 ■百草住宅管理組合
□倉沢自治会 ■西武百草園団地 ■御林山防災安全会
□大東住宅自治会 ■ホワイエ三沢台自治会 □ファミリー高幡
□エステート百草台管理組合
(会費会員) □三沢地区自主防災会 ■百草園スカイハイツ自治会
□百草団地自主防災会
(メール会員) □武蔵野台自治会

※■が当日参加団体

3 議事録

避難所開設訓練の振り返り

事務局から「避難所開設訓練のフィードバック」（別紙配布資料）を用いて説明した。あわせて避難所開設マニュアル第 4 版ドラフト 7 への盛り込み箇所を説明した。

（事務局）他に開設訓練のフィードバックがあれば意見をもらいたい。

- ・体温計の電池の管理をどうするか考えたい。自然放電していると使えなくなる。
- ・開設訓練は 1～2 年に 1 度行われる想定なので、その時に必ず確認する運用でどうか？

（事務局）それぞれの自主防災会でも、電池の放電問題はあると思うがどうしているか？

- ・毎年確認して、必要であれば交換している
- ・初期費用がかかるが、保存期間 10 年の長持ち電池を使用している。

（事務局）予算も特に無いため、開設訓練で確認する運用でいきたい。その際、電池が切れそうだった場合は、防災安全課に電池の調達を相談できるだろうか？

（防災安全）相談してもらって問題ない

- ・貼り出し模造紙の強度が弱い点が気になった。

（学校）あれば模造紙ではなく、感熱紙に拡大印刷している。劣化した場合は、再度打ち出す必要があると思う。

- ・何とか補強できないだろうか？

（学校）学校では、貼り直しが必要な場合は、裏に紙テープを張るなどして補強している。

- ・感熱紙ではなく、安めの印刷業者を使って、印刷してもらってはどうか？
- ・裏地に何か貼ってはどうか？

(事務局) 貼り出す紙もマニュアル更新とともに、本来は1～2年で打ち出し直すべきものなので、あまり再利用はされないのではないか。現在は、毎回すべて打ち出し直していない。

・今後、初動ボックスの内容物確認の際にもう一度考えてみてはどうか。

開設マニュアル4版の完成と発行

(事務局) 初動ボックスの内容物についてはまだ整理すべき点があるが、開設マニュアルとしては今回のドラフト7を正式版としたいがどうか？

→賛同の声

(事務局) では事務局でPDF化を行い、日野市のHPにアップしてもらいたい。防災安全課にPDFをお送りする形で問題ないか？

(防災安全) 問題ない

(事務局) 各自治会・自主防災会では、必要であれば日野市のHPからPDFをダウンロードして印刷して展開頂きたい。役員にマニュアルを配布している会もあれば、更新のお知らせを行うのみの会もあり、周知方法は各会にお任せしている。

令和7年度の活動内容の検討

(事務局) 来年度の活動内容の候補として、①施設の安全チェック関連、②防災倉庫の内容物確認とレイアウト、③ペット関連、④地域への周知推進、⑤開設訓練などがあげられる。

(事務局) ①施設の安全チェックは、やむをえない場合に地域住民が窓などを使って入り、安全チェックを行う現在の流れをどうするかという問題で、論点整理とアイディア出しを今年度行った。これを基にマニュアル改訂に進む流れになるため、優先順位は高くなると思う。

・緊急地区担当員が来ないケースの話は、これ以上議論しても答えが出ないため、これまでの整理を基に、早急に方針を確定してしまうのが良いと思う。

(事務局) ②防災倉庫のレイアウトは、住民開設の際に必要なものを手前に置くというもの。

(学校) これは内容物確認と一緒に、1日で行えてしまうのではないか。

(事務局) そうだが、年間で何日の活動にするかによって、1日の重みが違ってくる。実施時間も日中となると、休日になるだろう。

・活動頻度としては、今年度と同じ2ヶ月に1回程度がよいのではないか。

・どれをやるやらないではなく、ある程度優先順位を振っておくというのがよいのではないか。

(事務局) ③ペット関連については、現在ペットの当座の飼育場所が屋外となっているが、室内飼いの犬猫もあり、あまり現実的では無いと考えている。以前台風で実際に避難所が開設された際は、ペット連れの家族は車で避難してきており、結局、体育館ではなくペットと一緒に車の中に避難していたという話もある。

(防災安全) 現在は昇降口などが想定されている。

(事務局) このマニュアルができた当初は、まだ方針もあやふやだったため、改めて学校側含めてペットの避難場所をつめていく必要がある。犬猫だけでなく、ハムスターなどの小動物、金魚などの魚類についても想定したい。ヒーターなどがなければ、生きられないケースもある。ケージもある程度のサイズであれば、車で搬入する必要がある。

・ペットを飼っている方は、避難所の環境（飼育場所や電力有無等）を理解した上で、持参するものなどを判断してもらう必要があると思う。

（事務局）④地域への周知では、事務局アイディアとして動画を挙げてみた。開設訓練では、マニュアルはあまり読まれず、初動袋の箇条書きの指示もほとんど読まれなかった。地域の人々に開設の流れを知ってもらうには、ショート動画を作成してはどうかと考えた。

・編集作業は、技術や時間がかかなり必要になるのではないかな。

（事務局）その通りだと思う。他の避難所でも同じような課題はあると思うので、例えば翌々年度などに市で予算を取ってもらって、動画を作ってもえればよいのだが。

・動画を繋ぐのではなく、静止画とキャプションのような動画なら、ショートで作りやすいかもしれない。

（事務局）⑤開設訓練は基本的に毎年実施したい、という意識でい今まできている。

・やる、でよいのではないかな。

令和7年度の運営費・体制の検討

（事務局）運営費だが、郵便代や印刷費が値上っているため、年6回以上の活動であれば1500円を考えている。現在の残高は5258円となる。議事録印刷と郵送費、封筒代が主となる。

（学校）当日資料の印刷を学校側で行っているが、正直負担が高くなっており、デジタル化を推進したいと考えている。例えば議事録についても、ウェブサイトからダウンロードしてもらう形にすれば、印刷郵送費も軽減できるのではないかな。

（事務局）議事録の送付は、現在、郵送希望とメールOKの団体に分かれている。郵送希望が12団体と多い。

（学校）市か学校、どちらかのサイトにドキュメントおく場所を作って、印刷が必要であれば各自治会・自主防災会でダウンロードして行ってもらう方法はどうか。

（事務局）当日資料や議事録は公開を考えていないため、会のメンバーに限定できるようパスワードはかけたい。

（学校）学校のホームページであれば、特定のページにパスワードをつけることは可能。

（防災安全）市のホームページでは、これまでこうした利用ケースが無く、実現可能かどうかわからない。

（事務局）そうすると、学校側で用意頂くのが現実的だと思う。

・ダウンロードと印刷のハードルが高い自治会・自主防災会もあるのではないかな。

（学校）その場合は、個別に対応する形でよいのではないかな。基本をデジタルにするのでどうか。

・運営費は個人ではなく自治会の支出であり、もし印刷関連費用が問題ならば、運営費を例えば2500円など値上げしてもよいのではないかな。

・私の自治会は、市の補助金で運営されており、会費0円になっている。補助金は運営費として充てられないため、取り崩しになる。少しインパクトはある。

（事務局）デジタル化が行われるならば、年1000円でも問題ない気がする。

・来年度はデジタル化の試行の年として、予算は従来見積り通りの1500円でよいのではないかな。

・今日は参加者も少ないため、来年度の初回定例で、基本デジタルへの移行を案内してはどうか。

・その際に、すでに実際のサイトができていとよい。

（学校）準備可能、今回の議事録からアップできる。

（事務局）では、次年度はデジタル化（学校のホームページを利用した当日資料や議事録の PDF 配布）への移行を開始する年としたい。

（事務局）運営体制だが、現行の事務局体制を継続したいがどうか。これまで会長制や持ち回り制への移行も選択肢として上がっているが、まだ具体的な開設マニュアルの改訂作業が残っているため、次年度はこのままいきたい。

→賛同の声

令和 7 年度活動計画のまとめ

- ・令和 7 年度は以下の検討を行う（丸数字は優先順位）

①デジタル化

②施設の安全チェック関連のマニュアル盛り込み

③ペット関連

防災倉庫の内容物確認とレイアウト変更

地域への周知推進方法の検討（動画等）

- ・令和 7 年度も開設訓練は実施する

- ・令和 7 年度の運営費は、1 5 0 0 円/年とする

次回

- ・令和 7 年度活動計画について
- ・デジタル化について
- ・令和 7 年度運営費として、正会員団体 1 5 0 0 円をお願いいたします。

以上

2024.12.21

2024 年 12 月 21 日（土）9:30-11:30 避難所開設訓練

参加者者 16 名＋学校 3 名＋日野市 2 名

【1. 七生緑小に避難】

- ・避難者に持参してもらいた物について意見交換が行われた。
- ・学校側から、上履きは持参してもらいたいとの話があった。
- ・靴カバーを用意できないかというアイデアが出た。
- ・衛生面からトイレ用のスリッパも別途用意したいという話があった。
- ・ライトは、初動ボックスに手回し型のものが 1 つあるが、それでは頼りないという意見があった。
- ・ライトは、持参推奨にしたいという意見もあった。
- ・マスクは、市側としては持参推奨の位置づけで、防災倉庫には備蓄があるとのことだった。
- ・マニュアルに持参と書いてしまうと、持ってこなかった（これなかった）人が委縮してしまうこともあるため、書き方は慎重に検討したいとの意見があった。
- ・マニュアルではなく、地域への周知の際に、団体から、持参推奨品として挙げてもらってはどうか、というアイデアも出た。

【初動ボックスを開ける】

- ・初動袋の番号が通番になっていなかった。
- ・体温計の電池を入れる向きなどが分かりにくかった。
- ・自分で検温するのか、他の人を検温していくのか、よくわからないという質問があった。
- ・検温時、皮膚から遠くで検温したため低く出ることがあった。5 c m以内で行う必要がある。
- ・初動袋③で、貼り出し模造紙と団体配布資料が一緒になっており、貼ると配布の 2 つの作業が混在しているため、袋を分けた方が分かりやすいのでは、という意見があった。
- ・袋の表紙に書いてある文言（指示）が読まれず、どこに貼り出すのか分からない場面があった。
- ・貼紙自体に貼る場所などの指示を書いておくといいいのでは、というアイデアが出た。
- ・貼った状態の写真を撮っておいて、それを見ながら貼ってもらう、というアイデアも出た。
- ・体育館割り振りマップと体調不良者用教室のマップは上下の貼り出しを想定していたが、下に貼ると見づらく、今回の訓練ではトイレの左右に貼られた。左は体調不良者、右は体育館にすると分かりやすいという意見が出た。
- ・割り振りマップは、現在位置が分かるようにマークを入れてはどうか、という意見が出た。
- ・1 次開放施設マップは、本部の壁に貼ることになるため、180 度反転した図にした方がよい、という意見が出た。
- ・体調不良者用教室への経路確認では、通路が暗かったため、蛍光灯のスイッチの位置を施設および体調不良者用教室のマップに記入しておいてはどうか、という意見が出た。
- ・体調不良者用教室は、生活室にはカーペットが敷いてあり、横になるにも便利という感想

だった。

- ・生活室の奥は、使用不可とのことなので、学校側にその旨の表示をしてもらえることになった。

【リーダーを決める】

- ・人数集計用紙を体育館に広げたあたりで、進行が止まってしまった感があった。
- ・人数報告の代表者とリーダーの関係がよく分からないとの意見があった。
- ・③のリーダーの役割の記述で、より具体的に仕事内容が分かると、選出理由が分かり不安も無くなるのでは、との意見があった。
- ・リーダー決定後、リーダー同士が役割分担を相談して進める、といった文言があるとよいのでは、という意見があった。

【トイレの確保】

- ・時間の都合上、体育館のトイレのみで実施した。
- ・災害用トイレセットの設置テストを行った。
- ・実際にテスト頂いた参加者からは、初見では分かりにくいかもしれないが、付属のマニュアルを読めば、なんとかなるのではという感想だった。
- ・トイレの水を誤って流さないため、トイレ準備の際に、水洗レバーに養生テープを張ってしまっただろうか、という意見が出た。

【防災倉庫】

- ・トイレセットの段ボール1箱が重く、台車を用意しておけないか、という意見が出た。
- ・すぐ使うものを前に配置したいという意見が出た。防災安全課からは、行った内容を連絡もらえれば、ある程度の配置変更はOKとのことだった。
- ・特設公衆電話については、「市職員が誰もいない場合」に行うことになっているが、緊急地区担当員は行かないため、書き方を少し変えた方がよいのでは、という意見が出た。
- ・特設公衆電話は、現在倉庫Aにあるため、マニュアルにもA側と書いた方がよいのでは、という意見があった。

以上

※各フィードバックは、可能なものは第4版ドラフト7に盛り込み、残りは来年度の検討事項として整理する予定。